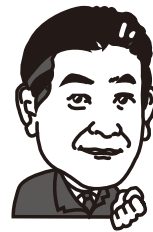


町長の改革日記

さらなる飛躍を願って



元旦、熱田神宮を参拝するため、大村愛知県知事、河村名古屋市長とともに、自転車で大須観音から走り、到着後、3人で街頭演説をしました。

さらに2日(水)にも伊勢神宮を参拝し、今年が大治町にとってより良い一年になるように祈願いたしました。私をご存じの方もかなりいらっしゃるようで、



●熱田神宮を参拝



●伊勢神宮の鳥居からの美しい日の出

「頼むぞ。頑張れよ!」と力強い言葉をいただき、勇気づけられ、体の中から熱い思いがみなぎってきました。

昨年1月に、体操のオリンピックメダリストの池谷幸雄氏を招いて、大治町スポーツセンターにて親子わくわく体操塾を開催したところ、200名以上の方が参加され、大盛況でしたので、今年も1月13

日(日)に開催することになりました。池谷氏の子どもに対するスポーツへの思いはとても熱く、あいさつ、礼儀を重んじ、子どものころの運動が将来の運動力につながると熱く語っておられたことを思い出します。

さらに今年は中日ドラゴンズの選手を招いて野球教室を開催する予定です。将来、大治町からオリンピック選手が生まれるのが夢ではなく、現実となる日は近いかもしれません。

また、昨年5月に結成した「いいまちづくり隊」の会員も220名を超え、いろいろな活動に参加していただいています。昨年一番感動したことは、私が4月から始めた毎日のあいさつ運動に、10月から大治小学校の児童会役員7人が結成した「あいさつ隊」が加わり、手作りのたすきをかけ、登校する児童にあいさつの声かけを



●大治小学校のあいさつ運動

始めました。それが12月21日(金)には、40人を超える児童が加わり、みんなで元氣よくあいさつを交わしていました。私は目頭が熱くなりました。こうしたつながりが広がり、仲間が一人でも増えることを願っています。

本年も愛知県、名古屋市長、そして大治町の絆を強くし、より安全・安心な住民主体の手作りのまちづくりをしていきたいと思っています。

大治町長

岩本好広